

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

JR東日本で働くすべての労働者の皆さんへ!

職場討議資料

JR連合「あるべき労働組合像・労使関係像」

JR連合は2月の中央委員会の民主化方針で、「あるべき労組像・労使関係像」の職場討議資料を提起し、今後、民主化機材として積極活用していくこととしました。この間、JR連合が取り組んできた被害者救済運動の成果により、JR総連運動の異常性が内外に明らかになりつつあります。JR東日本で働くすべての労働者の皆さん、ぜひこの職場討議資料を読んで、労働組合や労使関係のあるべき姿と一緒に考えましょう。JR東日本ユニオンは、このアイデンティティを目指しています。

わが国における労働組合の存在意義

労働組合が果たすべき役割

私たちが求める労使関係

あるべき労働組合・労使関係をJRに築くために

第6回 労働組合が果たすべき役割 その2

(1) 職場を良くし企業と社会の持続的発展を築くために

働く者の幸せ・企業の発展・社会の発展を合わせて追求しなければならない

労働組合が企業のコーポレートガバナンス（健全な企業経営のために企業の内部統制や不正防止など監視的 な取り組み）を行い、社会に評価される企業活動を実践させることが重要である

- ・企業は「社会の公器」である。企業が社会や地域から尊敬される存在、「企業があってありがたい」と思われる存在になり、社会的な役割を果たさなければその存在価値はなく、持続的な健全な発展は望めない
- ・社会の規範を守り、地域・社会の役に立つことが求められる
- ・とくにJRの場合は、社会を支える存在であり、社会的な役割や使命は非常に重い
働く者自身も仕事のプロを目指し成長していくことが必要である
- ・長期雇用の下で能力を磨き、仕事のモラルを高め、適正な生産性向上や競争力強化に資する存在になるべきである ~誰もが「いい仕事がしたい」と思える環境づくりを
- ・企業にも長期雇用を守り適正な賃金を支払おうと思わせる存在になる
- ・そのための職場環境や人事制度などをつくり適正に運用させることが必要である
企業人のみならず社会人として自立することも必要
- ・組合員は、「家庭」「企業」「社会・地域」の三分野に関わって生きているはず
- ・まず健全な「家庭」を築くこと、そして社会や地域に対しても積極的に関与し、その発展のために役割を果たしていくべきである。社会人としての自立も必要
- ・在職中のみならず、企業退職後も組織での経験を活かし社会に貢献できる存在であることが望ましい
- ・労働組合は、組合員の家庭や社会・地域との関わりに対しても役割を發揮すべきである